

循環協にいがたの発刊にあたって



一般社団法人 新潟県産業資源循環協会
会 長 関 隆 雄

紅葉が錦のように色鮮やかな頃となり、皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

本年度の総会については、新型コロナウイルス感染症の行動制限が行われなくなったこともあり、多くのご来賓及び会員から出席いただきました。懇親会を含め盛会裏に終えることができましたこと、改めてお礼申し上げます。

役員改選による新体制においては、引き続き会長職を務めさせていただくことになりました。今後とも皆様のご支援、ご協力をいただき、会員の皆様及び協会の充実発展のため尽力していく所存ですので、よろしくお願いします。

さて、本年1月1日に発生した能登半島地震では、当県も新潟市をはじめとする多くの市町村で家屋等の被害に見舞われました。当協会は、県から協定に基づく協力要請を受け新潟市の公費解体で発生する災害廃棄物の処理に関して会員の斡旋を行いました。被害に見舞われた方々にお見舞い申し上げるとともに、今後とも、一日も早い復旧・復興に向け、災害廃棄物処理に協力していきます。

また、本年も猛暑とともに豪雨災害も発生しました。世界では、国連が推奨するSDGsに見られるように、持続可能な社会づくりに向けて「環境への取組」に大きく舵を切っています。国内でも2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、あらゆる分野での取組が進められています。

併せて、経済社会システムそのものを循環型に変える、すなわち、これまでの一方通行型の線型経済から循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行が強く求められています。これらを背景として、本年5月には、「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」が公布されました。

我々の業界を取り巻く環境は、ある意味、これから大きな転換点を迎えることになるものと考えられますが、このような動きを注視しつつ、今まで培ってきた経験を活かし、社会の変化に遅れることのないよう取り組んで行くことが重要と考えており、協会としても引き続き必要な事業を展開していきたいと考えております。

最後になりますが、当県関係での明るい話題として、7月にインドで開かれたユネスコの世界遺産委員会で、『佐渡島（さど）の金山』が世界文化遺産に登録されました。また、初の新潟空港を起点とする地域航空会社トキエアにより、1月の札幌丘珠便を皮切りに、4月の仙台便、9月の名古屋（中部）便が順次就航しました。いずれも、関係者の皆様の長きにわたる粘り強い活動が実を結んだ結果と受け止めており、これらを起爆剤として、新潟のよいところを更に活かせるような活動が高まっていくことを願っております。

今後とも会員皆様の協力と行政、関係団体の皆様からのご支援・ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

令和6年度 通常総会の開催

令和6年6月5日（水）ANAクラウンプラザホテル新潟（新潟市）において令和6年度通常総会を開催しました。

出席者は、正会員396社（委任状出席者を含む）、賛助会員9社でした。

総会は、（株）石山商店の石山幸子氏の司会によって進められ、曾根副会長による開会の辞によって開会しました。

議長には、小柳産業（株）の小柳秀樹氏が選任され、議事録記名人には新発田支部の須貝和正氏と新潟支部の吉田誠吾氏が指名されて議案の審議が進められました。

議案審議では「令和5年度事業報告・令和5年度決算報告」が質疑、異議ともになく可決承認されました。

また、「任期満了に伴う役員改選に関する件」に関して質疑、異議ともになく提案どおり新役員が承認されました。

続いて、令和5年度末の理事会で承認されている「令和6年度事業計画に関する件」及び「令和6年度収支予算に関する件」を報告し審議を終了しました。

その後に行われた表彰式では、関会長から功労者6名、優良事業所6社、優良従事者14名の方々に表彰状の授与が行われました。

次に、本年度、（公社）全国産業資源循環連合会会長表彰を受賞された皆様（功労者表彰1名、地方功労者表彰3名、地方優良事業所表彰7社、優良従事者表彰12名）を紹介しました。

休憩を挟んで来賓入場後、最初に当協会の関会長が挨拶し、花角英世新潟県知事（代理 玉木有紀子新潟県環境局長）、中原八一新潟市長（代理 野島晶子新潟市副市長）、楡井辰雄新潟県議会議長、協会顧問の石井修新潟県議会議員からご祝辞をいただきました。

その後、来賓紹介に移り国土交通省北陸地方整備局企画部 石田和典技術調整管理官（代理 技術管理課 佐藤由浩課長補佐）、新潟県環境局 南直樹参事（資源循環推進課長）、同局資源循環推進課 不法投棄対策室 廣田由紀室長、同課産業廃棄物係 高橋雅昭係長、新潟県土木部 江部俊浩参事（技術管理課長）、同部技術管理課 嵯峨山航政策企画員、新潟市環境部 木山浩部長、同部廃棄物対策課 佐藤伸一課長、同課廃棄物指導室 清水智室長、新発田地域振興局 土屋江理子環境センター長、三条地域振興局 西潟良成環境センター長、長岡地域振興局 岩浪春輝環境センター長、南魚沼地域振興局 大野勝之環境センター長、上越地域振興局 柴田敏行環境センター長、佐渡地域振興局 茨木剛環境センター長、（公財）新潟県暴力追放運動推進センター 家老直貴専務理事の皆様方を紹介しました。

さらに、佐藤信秋参議院議員、国定勇人衆議院議員、皆川雄二新潟県議会議員、（公社）全国産業資源循環連合会 永井良一会長からの祝電を披露し、近藤副会長による閉会の辞によって令和6年度通常総会は終了しました。

令和6年度 通常総会



会長あいさつ



曽根副会長の開会の辞



新潟県知事祝辞（代理 玉木環境局長）



新潟市長祝辞（代理 野島副市長）



近藤副会長の閉会の辞



総会会場の様子

開会挨拶

一般社団法人 新潟県産業資源循環協会
会 長 関 隆 雄

通常総会を開催するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃より当協会の運営にご協力を賜わり誠にありがとうございます。

本日、新潟県知事様、新潟市長様をはじめ多くの来賓の皆様にご臨席を賜り、総会を開催することができました。この場を借りまして、心から御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの法的位置づけが変わって1年経ち、様々な行事・イベントの復活や観光地の賑わいなど、昨今の状況をみると、社会が従来の姿に戻りつつあることを実感しております。

しかし、その一方で、我々の業界を取りまく環境は、エネルギー資源や原材料の高騰、人手不足など、更に厳しい状況が続いております。

また、今後、脱炭素化と併せて資源循環に向け、より一層の取組を行うことが、我々業界に求められるものと見込まれ、予断を許さない状況がしばらく続くものと予想されております。

このような厳しい状況を踏まえつつ、我々は将来の事業を担う人材の確保・育成を進め、良好な職場環境の確立を図り、社会の変化に乗り遅れることの無いよう、将来を見据えた取組を、積極的に進めていく必要があります。

現在、各県協会で組織する「公益社団法人全国産業資源循環連合会」では、人材の育成・確保、低炭素化への取組、労働災害の撲滅といった課題に向けた取組を進めており、当協会も、その動きに即して、廃棄物の適正処理はもとより、労働安全衛生の推進といった様々な課題に対応すべく、新任者から経営トップといった幅広い層に対する研修や各種情報発信等に、今年度も計画的に取り組んで行くこととしております。

つきましては、今後とも行政や関係団体の皆様との連携を深め、業界の社会的な信頼と価値を高めることで、循環型社会の構築、ひいては新潟の発展に、微力ではありますが貢献してまいりたいと考えておりますので、皆様方からの一層のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご参集の皆様方の益々のご活躍と、ご健勝を祈念いたしまして、開会のあいさつとさせていただきます。

祝 辞

新潟県知事 花 角 英 世

一般社団法人新潟県産業資源循環協会の令和6年度通常総会の開催にあたり、一言お祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から、産業廃棄物の適正処理を通じ、環境行政の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず、今年1月の能登半島地震におきましては、県内各地で大量に発生した災害廃棄物の適正かつ迅速な処理にご尽力を賜り、本県の災害復旧に多大なる御貢献をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

また、講習会事業や適正処理の推進をはじめ、会員事業者の育成や連携の強化等にあたっておられますことに敬意を表しますとともに、このたび優良事業所等の表彰を受けられました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

さて、皆様におかれましては、これまでも廃棄物の適正処理や3Rの推進等に積極的に取り組んでこられました。近年、脱炭素社会への転換に向け高度な技術を活用したりサイクル事業の推進やリサイクル素材の一層の利用促進等が求められており、今国会におきまして、新たに「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」が成立したところです。

産業廃棄物の適正な処理はもちろん再資源化促進にあたっては、貴協会が果たす役割は益々重要となるものと考えており、今後の取組を大いに期待しているところであります。

県といたしましては、「県資源循環型社会推進計画」に基づき、様々な取り組みを推進するとともに、貴協会からもご要望いただいた、上越地区における公共関与最終処分場の整備につきましては、今年度、環境影響評価や測量等の取組を鋭意進めているところです。

引き続き、地域の皆様からの御理解を得ながら、環境保全事業団や上越市等と連携し、着実な取組を続けてまいります。

結びに、貴協会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、祝辞とさせていただきます。

祝 辞

新潟市長 中 原 八 一

本日は、一般社団法人新潟県産業資源循環協会の通常総会が開催され、誠におめでとうございます。
皆さまにおかれましては、日頃より産業廃棄物の適正処理や不法投棄の防止活動、リサイクルの推進などを通して、本市の環境保全、生活環境の向上に多大な貢献をいただき、深く感謝申し上げます。
また先ほどは、功労者や優良事業所、優良従事者の方々の表彰が行われたとお聞きしています。栄えある表彰を受けられた皆さまには、心よりお祝い申し上げます。

能登半島地震が発生し、早いもので5か月が経過しました。現在は、本格復旧に移行しておりますが、今もなお、先の見通しが立たない方もおられます。被災者の皆さまが、一日も早く平穏な日常を取り戻せるよう、市役所一丸となって、復旧と被災者の生活支援や生業の支援に取り組んでまいります。

被災した家屋等の公費解体制度については、貴協会からご助言、ご協力をいただいております、あらためて御礼申し上げます。2月26日に申請受付をスタートし、5月20日から解体・撤去工事を始めたところです。5月30日現在で420件の申請となっており、申請から工事が完了するまでには6か月かかる想定しておりますが、今後もさらに申請が見込まれますので、解体後の発生廃棄物の処理について、ご協力をお願いいたします。

近年は全国各地で大きな揺れを伴う地震が発生しており、また、水害や土砂災害も激甚化しています。災害時において市民の皆さまの生活基盤の早期回復を図り、災害によって生じる廃棄物を迅速に処理する体制づくりを推進していくためには、平時からの皆さまとの連携が欠かせません。

本市としましては、今後も災害に強いまちづくりを進めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますのご発展と、ご列席の皆さまのご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝 辞

新潟県議会議長 楡 井 辰 雄

新潟県産業資源循環協会の令和6年度通常総会の開催に当たり、県議会を代表いたしまして、一言お祝いを申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃から産業廃棄物の適正処理や資源循環の推進などに取り組まれ、本県の環境保全や資源の有効活用に大きく貢献いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

また、本日、栄えある表彰を受けられました皆様、誠におめでとうございます。その御功績に心から敬意を表しますとともに、今後ますますの御活躍をお祈り申し上げます。

御承知のとおり、近年、産業廃棄物は、産業構造の高度化や国民生活の多様化などを背景として、大量かつ多種多様化しており、その適正処理が重要な課題となっております。また、産業廃棄物の焼却に伴う地球温暖化や、廃プラスチックによる海洋汚染など、持続可能な社会の実現に向け、地球規模での対応が求められております。

県では、「脱炭素社会への転換」の取組と併せ、資源を大切にする循環型の地域社会づくりを進めており、産業廃棄物処理施設の整備や不法投棄対策の強化、あるいは廃棄物の減量化や再使用・再生利用など、廃棄物の適正処理を一層進めていくためには、国や地方公共団体はもとより、貴協会を始めとした関係団体が一体となった取組が重要と考えております。

このような中、貴協会におかれましては、県や関係団体と連携して各種研修事業や廃棄物処理施設の整備、災害廃棄物処理体制の構築など様々な取組に積極的に努められており、その中心としての役割を引き続き担われ、産業廃棄物の適正処理や資源循環の推進に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

県議会といたしましても、豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいくため、資源を効率的に利活用し、環境への負荷を低減する「循環型社会」の構築に向け、各種施策を推進してまいります。

結びに、一般社団法人新潟県産業資源循環協会のますますの御発展と御列席の皆様方の御健勝・御活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

一般社団法人新潟県産業資源循環協会役員名簿

令和6年6月5日

役 職	氏 名	企 業 団 体 名	支 部	備 考
会 長	関 隆雄	新潟ガービッチ（株）	三魚沼	支部長
副会長	曾根 剛	曾根建（株）	新発田	支部長
〃	大橋 崇	（株）大橋商会	新 潟	
〃	近藤 正明	（株）新潟ヂーゼル工業	長 岡	支部長
専務理事	栗林 英明	（一社）新潟県産業資源循環協会		
理 事	小柳 秀樹	小柳産業（株）	新発田	
〃	須貝 和正	（株）公衛社	〃	
〃	武藤 浩行	（有）武藤清掃工業	〃	
〃	富田 力	新潟特殊企業（株）	新 潟	支部長
〃	前田 正実	（有）新津清掃社	〃	
〃	齋藤 隆	（株）齋藤組	〃	
〃	市川 正和	青木環境事業（株）	〃	
〃	吉田 誠吾	（公財）新潟県環境保全事業団	〃	
〃	吉田 智彦	（有）吉田商事	〃	
〃	桐生 竜治	（株）丸正土木	県 央	支部長
〃	小田島藤吉	ふじ環境保全（株）	〃	
〃	渡辺 純	三島谷興産（株）	長 岡	
〃	元井 秀哲	大和運送建設（株）	〃	
〃	吉田 松明	（株）吉田鋼業	〃	
〃	酒井 栄一	中越環境開発（株）	〃	
〃	霜田真紀子	シモダ産業（株）	〃	
〃	大桃 政春	（株）小出環境サービス	三魚沼	
〃	小泉 等	（株）小泉工業	〃	
〃	飛田 剛一	飛田テック（株）	上 越	支部長
〃	熊木 晶	アイレック新潟（株）	〃	
〃	齊藤 昇治	（株）齊藤商事	〃	
〃	越前 隆夫	越前工務店（株）	佐 渡	支部長
〃	駒形 信治	信栄陸運（株）	〃	
〃	藤井 映規	（株）エコスタッフ	青年部	部会長
〃	善宝 晋場	アイビス技建（株）	〃	
監 事	田村 雄作	環境技研（株）	新 潟	
〃	金内 宏彰	（株）丸共	長 岡	
顧 問	小田島繁信	ふじ環境保全（株）	県 央	

理事30名 監事2名 顧問1名 計33名

委員会名簿

総務企画委員会	◎関会長、○曾根副会長、大橋副会長、近藤副会長、富田理事、桐生理事、飛田理事、越前理事
広報委員会	◎近藤副会長、○須貝理事、武藤理事、吉田（誠）理事、吉田（智）理事、小田島理事、吉田（松）理事、霜田理事、大桃理事、齊藤理事、駒形理事、藤井理事
処理業振興委員会	◎大橋副会長、○小柳理事、前田理事、齋藤理事、市川理事、渡辺理事、元井理事、酒井理事、小泉理事、熊木理事、善宝理事

◎は委員長、○は副委員長

令和5年度の主な事業活動状況について

本協会は、産業廃棄物の適正な処理、資源循環の推進を一層進めていくこととし、令和5年度は、従来に引き続き産業廃棄物の適正処理対策への取組、資源循環の推進、不法投棄の防止はもとより、労働安全衛生や地球温暖化対策の取組、人材育成、社会貢献、災害廃棄物への対応等の事業を展開した。

より効果的な事業展開を図るために、国の機関、新潟県及び新潟市等の地方公共団体、(公社)全国産業資源循環連合会等の関係団体との連携を強め、的確な情報の収集を行い、会員等に対する情報提供を進めた。

また、新型コロナウイルス感染症に関して、必要な情報提供を行うとともに、事業の実施にあたっては、拡大防止措置を講じたうえ、十分な配慮を行った。

講習会・研修会事業についての詳細は以下のとおり。

～ 講習会・研修会事業 ～

(1) 産業廃棄物処理業許可申請等講習会

ア 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会

(公財)日本産業廃棄物処理振興センター(JWセンター)が実施する「産業廃棄物処理業許可申請等講習会」等の実施に協力した。

令和5年度はWebによる講義と会場(新潟グランドホテル)での試験を組み合わせたオンライン形式及び一部の講習会に関し対面形式で実施された。

また、当協会では、来庁者や電話照会への対応、協会ホームページ等での周知、試験会場での受付等を担当した。

種類	講習の種類	試験(講習)日	定員	受講数
新規	収運課程	6/21	66	60
		7/5	66	58
		(対面) 11/7～8	66	60
		12/6	66	55
	処分課程	11/28	65	27

種類	講習の種類	試験（講習）日	定員	受講数
更新	収運課程	6 / 21	66	63
		6 / 22	66	64
		7 / 4	66	60
		7 / 5	66	61
		(対面) 9 / 5	66	58
		11 / 9	66	60
		12 / 5	66	54
		12 / 6	66	33
	処分課程	11 / 28	65	36
		12 / 5	65	16

イ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

新潟グランドホテルを会場にしたオンライン形式及び対面形式での講習会の実施にあたり協力した。

試験日	定員	受講数
6 / 22	66	65
7 / 4	66	46
(対面) 9 / 6	66	63
11 / 9	66	65

(2) 産業廃棄物処理に携わる人材育成

ア 産業廃棄物処理に係る新任者研修会

新入社員や新任者の人材育成を図ることを目的として研修会を開催した。

日 時：令和5年5月16日（火）10時～16時

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内容及び講師：

① 産業廃棄物処理業界の概要

講師（一社）新潟県産業資源循環協会 専務理事

② 労働安全衛生について

講師（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会 新潟支部 講師

③ 産業廃棄物処理の基礎

講師（公社）全国産業資源循環連合会 元専任講師

参 加 者：83名

イ 産業廃棄物処理実務者研修会

実務者クラスの人材育成を目的に研修会を実施した。

日 時：令和5年10月4日（水）13時～16時30分

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内 容：産業廃棄物の委託処理と委託契約、マニフェスト、帳簿作成 等

講 師：（公社）全国産業資源循環連合会 元専任講師

参 加 者：57名

ウ 産業廃棄物収集運搬業務担当者セミナー

収集運搬に携わるドライバーや運転業務管理を行う者等を対象に、法令内容を理解し適正処理や事故防止等を促す研修会を開催した。

日 時：令和5年11月29日（水）13時30分～16時30分

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内 容：廃棄物処理法、労働安全衛生、交通安全、運行管理等

講 師：新潟県警察本部 交通部交通企画課 ご担当

（公社）全国産業資源循環連合会 元専任講師

参 加 者：47名

エ （公社）全国産業資源循環連合会の人材育成プログラムにより実施する事業

eラーニング講座、産業廃棄物処理実務者研修会、産業廃棄物処理検定（廃棄物処法基礎）をホームページや機関誌に掲載し、受講を会員等に促した。

(ア) 産業廃棄物処理eラーニング講座

産業廃棄物処理に関わる全ての者を対象として、廃棄物処理法の基礎知識を習得するための研修会（収集運搬、中間処理、最終処分の各現場業務コース（3コース））

開 講：① 8月3日～8月29日 ② 9月5日～9月27日

(イ) 産業廃棄物処理実務者研修会（オンライン講座）

産業廃棄物の処理現場に従事する者を対象とした能力アップセミナー

開 講：春期 ① 5月2日～5月29日 ② 6月5日～6月28日

③ 7月5日～7月27日

秋期 ① 10月4日～10月27日 ② 11月6日～11月28日

③ 12月5日～12月25日

(ウ) 産業廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）新潟会場

産業廃棄物を処理する上で必要な正しい法的基礎知識が身についていることを確認する試験（全国14会場で同時開催）

日 時：令和6年2月18日（日）10時～11時30分

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

受 験 者：18名（新潟会場分）

(3) 労働災害防止に係る研修

ア 労働安全衛生研修会

目 的：業界における「リスクアセスメント」「安全衛生規程の作成」といった実践活動の進め方を周知することで安全衛生活動を推進する。

① 新潟会場

日 時：令和5年9月27日（水）13時30分～16時30分

場 所：新潟県建設会館 大会議室（新潟市中央区新光町7-5）

内 容：講義1 基本的安全衛生活動について

- 講義 2 安全衛生規定の作成について
 講義 3 安全衛生パトロールの実施方法について
 講義 4 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント（講義）
 〃（実習）

講 師：（一社）日本労働安全衛生コンサルタント会 新潟支部 講師

参 加 者：39名

② 長岡会場

日 時：令和 5 年 10 月 3 日（火）13 時 30 分～16 時 30 分

場 所：和同新産センタービル 大会議室（長岡市新産 2 丁目 1－4）

内容・講師：新潟会場と同じ

参 加 者：22名

(4) 電子マニフェストの普及促進

電子マニフェストの加入促進及び正しい使い方を周知することを目的に、マニフェスト操作体験セミナーを開催するとともに、JW センターが開催する Web 説明会、説明動画等をホームページ等で周知した。

（操作体験セミナー）

日 時：令和 5 年 9 月 20 日（水）午前の部：10 時から 12 時

午後の部：14 時から 16 時

場 所：燕三条地場産業振興センター 情報研修室（三条市須頃 1 丁目 17 番地）

講 師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター 電子マニフェストインストラクタ

参 加 者：39名

(5) 新潟県から受託事業、県との共催事業

ア 産業廃棄物 3R 推進セミナー

3R の推進を一層推進させることを目的とし、産業廃棄物を排出する事業者を主な対象として講習会を開催した。

開催日・場所：令和 5 年 10 月 10 日（火）新潟県民会館 小ホール

内容・講師：

(ア) プラスチック資源循環法の概要

（公財）新潟県環境保全事業団 リサイクルアドバイザー 米田和広 氏

(イ) プラスチックリサイクルの現状と課題

（公財）日本容器包装リサイクル協会 プラスチック容器事業部 青柳哲也 氏

参 加 者：82名

イ 産業廃棄物適正処理推進セミナー

排出事業者などに廃棄物処理法を理解する場を設けることで、産業廃棄物の適正処理意識の向上を図ることを目的として、講習会を県内各地で開催した。

平成5年度 開催日、開催市、会場、参加者数

開催日	開催市	会 場	参加者数
10月11日（水）	佐 渡 市	佐渡市金井コミュニティセンター 大集会室	30
10月12日（木）	新発田市	新発田市生涯学習センター 講堂	38
10月17日（火）	上 越 市	ユートピアくびき希望館 第三会議室	32
10月19日（木）	長 岡 市	和同新産センタービル 大会議室	68
11月2日（木）	三 条 市	燕三条地場産業振興センター リサーチコア マルチメディアホール	63
1月18日（木）	十日町市	道の駅クロステン十日町 中ホール	53
合 計	－	－	284

講演内容・講師

(ア) 「産業廃棄物不法投棄の現状と対策」

新潟県地域振興局健康福祉環境部環境センター ご担当

(イ) 「産業廃棄物排出事業者の排出責任等」

(公社) 全国産業資源循環連合会 元専任講師 渡辺一法 氏（佐渡、新発田、三条）

合同会社エコ・インテレクト 代表社員 松本津奈子 氏（上越、長岡、十日町）

ウ 産業廃棄物の収集運搬業新規許可申請説明会

産業廃棄物処理業の許可申請を行う者を対象（＊）に、申請書の作成方法に関する説明会を開催した（＊：更新許可申請を予定している会員にも案内を送付）。

日 時：令和5年7月21日（金） 13時30分～15時30分

場 所：新潟県自治会館 別館 ゆきつばき（新潟市中央区新光町4-1）

内 容：産業廃棄物収集運搬業の許可申請書の作成方法について

講 師：県資源循環推進課 産業廃棄物係 ご担当

参 加 者：20名

(6) 課題対応型研修

ア トップセミナー

業界を取り巻く新たな課題にどう取り組むべきかとのテーマに沿って、経営者層を主な対象とするセミナーを開催した。

日 時：令和5年12月11日（月） 15時～17時

場 所：新潟グランドホテル（新潟市中央区下大川前通3ノ町2230）

講 師：1 「令和5年～7年度労働災害防止計画について」

（一社）新潟県産業資源循環協会 専務理事

2 「中小企業と連携組織が持続可能な社会のために果たすべきこと」

明治大学政治経済学部 専任教授 森下 正 氏（※）

（※）新潟県中小企業団体中央会からの幹旋講師

参 加 者：27名

イ 会員企業への講師派遣

会員企業が廃棄物処理法の内容で社内研修を実施する場合の講師を派遣することとしており、令和5年度は1件（令和5年10月6日（金））の講師派遣を行った。



令和6年度 一般社団法人新潟県産業資源循環協会 会長表彰受賞者名簿

功労者表彰（6名）

（敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新発田	高 橋 国 蔵	東高建機作業（株）	聖 籠 町
新 潟	大 橋 崇	（株）大橋商会	新 潟 市
	朝 倉 哲 也	高倉産業（株）	
長 岡	渡 邊 純	三島谷興産（株）	長 岡 市
三魚沼	森 下 尚 平	森下企業（株）	湯 沢 町
上 越	清 水 勲	（有）清水建材	上 越 市

優良事業所表彰（6社）

（敬称略）

支 部	事 業 所 名	代 表 者 名	事業所所在地
新 潟	エヌ・ユー総合物流（株）	松 嶋 保	新 潟 市
	（株）テックアサヒ	水 野 正 之	
	（株）トーシス新潟	滝 沢 欽 司	
長 岡	（有）五十嵐建材	五十嵐 將 哲	見 附 市
三魚沼	（有）幸葉産業	南 雲 勇	津 南 町
上 越	デンカ（株）青海工場	萩 原 丈 士	糸魚川市

優良従事者表彰（14名）

（敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新発田	佐 藤 静	曾根建（株）	聖 籠 町
新 潟	斎 藤 直 紀	青木産業（株）	新 潟 市
	山 田 栄	（株）大橋商会	
	斎 藤 文 之	（株）北地区清総	
	齋 藤 美 靖	（株）斎藤組	
	大 坂 雄 司	新潟特殊企業（株）	
	稲 月 秋 生	（有）新津清掃社	
長 岡	高 田 佐 敏	（株）新潟ディーゼル工業	長 岡 市
三魚沼	大 島 毅	高木沢企業（株）	十日町市
上 越	草 間 隆	上越マテリアル（株）	上 越 市
	伊 藤 敬 一	アイレック新潟（株）	
	江 口 和 芳	（株）マキタ創建	
	廣 瀬 紀 彦	（一財）上越市環境衛生公社	
	田 中 智 治	（株）エコシステム	

令和6年度 公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長表彰受賞者名簿

功労者表彰（1名） （敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新発田	曾 根 剛	曾根建（株）	聖 籠 町

地方功労者表彰（3名） （敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新発田	小 林 一 義	（株）小林建材	五 泉 市
三魚沼	南 澤 隆	（株）南沢商会	魚 沼 市
上 越	熊 木 繁 雄	（株）アイシン	上 越 市

地方優良事業所表彰（7社） （敬称略）

支 部	事 業 所 名	代 表 者 名	事業所所在地
新発田	（株）三喜	片 桐 幸 一	阿賀野市
新 潟	（株）小飯田工業	小飯田 澄 雄	新 潟 市
	（株）ヤマダ	吉 村 鳳 一	
	（有）ヤマナリ猪又産業	猪 又 治 忠	
長 岡	（株）加藤産業	金 石 三 儀	長 岡 市
	（株）吉田鋼業	吉 田 松 明	小千谷市
三魚沼	（有）十日町廃棄物清掃公社	池 田 史 生	十日町市

優良従事者表彰（12名） （敬称略）

支 部	氏 名	事 業 所 名	事業所所在地
新 潟	楨 聡	（公財）新潟県環境保全事業団	新 潟 市
	池 田 昌 弘	新潟特殊企業（株）	
	相 木 穂	（有）新津清掃社	
	長谷川 正 明	（株）不二産業	
	坂 井 宏	北陸保全工業（株）	
県 央	土 田 聡	（株）功明社	三 条 市
三魚沼	高 橋 儀 男	新潟ガービッチ（株）	南魚沼市
	今 泉 洋 一	森下企業（株）	湯 沢 町
上 越	清 水 毅 彦	アイレック新潟（株）	上 越 市
	玉 田 淳 一	（株）エコシステム	
	松 崎 直 樹	上越マテリアル（株）	
	齊 藤 広 行	飛田テック（株）	

令和6年度 表彰受賞者

(一社) 新潟県産業資源循環協会 会長表彰

功労者表彰



功労者表彰



優良事業所表彰



優良従事者表彰



優良従事者表彰



全産連会長表彰

